

# 国会活動

## 戦後最長の国会

6月24日までの今期の通常国会が9月27日まで大幅延長されました。戦後最長の国会、安保法案、新国立競技場建設など課題は目白押しです。



安倍総理への質疑

### 非核三原則について質疑

平和式典  
長崎で三原則言及  
首相 広島の批判受け

安倍首相は7月19日、広島平和記念式典に出席し、「三原則」を改めて強調した。式典のあいさつで、非核三原則に「核兵器のない世界を追求する」という文言が入っていると、9日に開かれる式典では「三原則」を明言するのではと、6日の広島でのあいさつが疑問を投げかけた。民主主義の小川淳也氏は、民主主義の原則を堅持し、非核三原則の堅持について明言したと説明したが、あいさつで盛り込まなかった理由が説明しなかった。

毎日新聞 2015.8.7

## 予算委員会

衆議院の予算委員会に所属し、安倍総理大臣と5回に渡って論戦を繰り広げました。昨年は「消費増税」の先送りについて、国民の信を問わねばならないと、約600億円の費用をかけて解散総選挙を強行した安倍総理大臣です。戦後70年の安全保障政策を大転換するのに、なぜ、国民の信を問わないのか。憲法改正を正面から議論しないのか。やり方は姑息ですし、国民の理解は得られません。



予算委員会

## テレビ出演



あさチャン! サタデー 2015.6.20



7.16 安保強行採決

報道ステーションでも取り上げられました。

2015.7.18

## 衆院予算委 論戦のポイント

小川淳也氏 (民主)

デモを「利己的」

小川氏 自民党の武藤衆議院議員が法案反対のデモを「戦争に行きたくない」という極端な利己的考えと批判した。

首相 戦争は違法だ。違法なものに参加しなければいけないとの発言は前提が間違っている。

新国立競技場問題

小川氏 真剣に見直しを検討したのか。業者との契約は保留すべきだった。

首相 (見直しした場合でも五輪に) 間に合うかどうか分るまでは表に出せなかった。最終的に確信が得られたから表明した。

毎日新聞 2015.8.8

## 62億円ムダ 野党追及

7日の衆院予算委員会での新国立競技場の建設計画を白紙撤回したことで生じるおよそ62億円の損害をめぐり、野党側が東日本大震災の復興に伴う地元負担などと比較しながら、政府の責任を追及した。政府やJSRCによる説明では、白紙撤回によって建築家ザハ・ハジド氏のデザイン監修料、支払い済みの工事監理業務の委託費などとして計62億円が無駄になる見通しが明らかになっている。

民主党の階猛氏は、これまで全額を国が負担してきた復興事業について2016年度から5年間、岩手、宮城、福島3県で約220億円の地元負担を課すことに言及。「こういうこと(62億円の無駄)を無間に付した上で、220億円の負担は不合理ではないか」と苦言を呈した。

同党の小川淳也氏は、本年度の五輪選手強化費(63億円)とほぼ同額とも指摘。「何のため、誰のための五輪か、本当に問われている」とたたきだした。

## 新国立競技場問題

東京新聞 2015.8.8

です。いったい誰のためのオリンピックか。何のためのオリンピックか。世界では競技場を建て替えるのではなく、改修によって見事に生まれ変わらせている例が多々見受けられます。これから人口が減る日本。高齢化がもっと進む日本。そして古くなった公共施設の維持コストが莫大に膨れ上がる日本。コンパクトでエコなオリンピックを目指すなら、まさに今回のスタジアムの建設は、未来に向けてモデルになるものとするべきです。

# 地元活動



小豆島 農村歌舞伎



親善交流 野球大会



参議院候補者公募



障害者自立就労支援 事業所視察



毎週の 商店街活動風景

芝山神社にて 山開き



廣旗神社夏祭り



マルシェにて



香川大学での 弁護士会主催シンポジウム



長妻党代表代行 来県

# 東京での活動



日本ものづくり ワールド視察



厚労省へ 車椅子用 テーブルの説明に



100人の高校生 × 国会議員の様子